

令和5年5月25日

兵庫県知事 殿

主たる事務所の所在地 宝塚市野上2丁目4番19号
医療法人名 医療法人社団 広辻眼科
理事長 廣 辻 徳 彦
(連絡先電話番号) 0797-72-6586

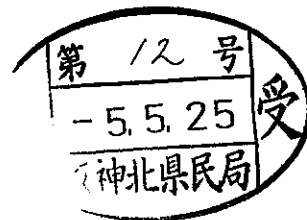
決 算 届

令和4年度の決算を終了したので、医療法第52条第1項の規定により届け出します。

(添付書類)

- 1 事業報告書
- 2 財産目録
- 3 貸借対照表
- 4 損益計算書
- 5 関係事業者との取引の状況に関する報告書
- 6 監事の監査報告書
- 7 医療法第51条第2項の医療法人の場合は、上記1～6に加え、次に掲げる書類
 - (1) 純資産変動計算書
 - (2) 附属明細表
 - (3) 重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記
 - (4) 公認会計士等の監査報告書

※社会医療法人債発行法人にあつては、上記(1)～(4)に加えキャッシュフロー計算書



(注)

- 1 貸借対照表及び損益計算書は、病院等、施設種別ごとに提出する必要はなく、法人全体のものを提出すれば足りる。
- 2 提出は会計年度終了後3月以内である。
- 3 貸借対照表の純資産額に変更があつた場合は、会計年度終了後3ヶ月以内に登記事項(組合等登記令(昭和39年政令第29号)別表の資産の総額)の変更の登記が必要である。
- 4 正副2部(病院、介護老人保健施設又は介護医療院を運営する法人、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、明石市に法人事務所のある法人は正副2部と受理機関の控えの計3部必要)
- 5 社会医療法人については、「社会医療法人の要件に該当する旨を説明する書類」を追加添付すること。

事業報告書

(自：令和4年4月1日 至：令和5年3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名称 医療法人社団 広辻眼科
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 宝塚市野上2丁目4番19号
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 平成元年7月7日
- (4) 設立登記年月日 平成元年7月19日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	廣 辻 徳彦	医療法人社団広辻眼科 管理者
理 事	廣 辻 紀子	
同	廣 辻 孝次	
監 事	川 原 道代	

- 注) 1. 社会医療法人、特別医療法人及び特定医療法人以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第 42 条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	広辻眼科	宝塚市野上 2 丁目 4 番 19 号	なし

注) 1. 地方自治法第 244 条の 2 第 3 項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第 42 条各号に掲げる業務）

※該当なし

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

※該当なし

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和 4 年 5 月 19 日

令和 3 年度決算の決定

令和 4 年 11 月 21 日

役員の任期満了による改選

令和 5 年 3 月 25 日

令和 4 年度の事業報告及び令和 5 年度予算の決定

様式11-2

法人名	医療法人社団	広辻眼科	※医療法人整理番号					
所在地	宝塚市野上2丁目4番19号							

財 産 目 録
(令和5年3月31日現在)

1. 資 産 額	190,409 千円
2. 負 債 額	45,801 千円
3. 純 資 産 額	144,608 千円

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	34,759
B 固 定 資 産	155,650
C 資 産 合 計 (A + B)	190,409
D 負 債 合 計	45,801
E 純 資 産 (C - D)	144,608

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	(■ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物	(□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

法人名 医療法人社団 広辻眼科
所在地 宝塚市野上2丁目4番19号

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和5年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	34,759	I 流 動 負 債	902
II 固 定 資 産	155,650	II 固 定 負 債	44,899
1 有 形 固 定 資 産	113,758	負 債 合 計	45,801
2 無 形 固 定 資 産	75	純 資 産 の 部	
3 そ の 他 の 資 産	41,817	科 目	金 額
		I 出 資 金	20,000
		II 積 立 金	124,608
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	144,608
資 産 合 計	190,409	負債・純資産合計	190,409

法人名 医療法人社団 広辻眼科
所在地 宝塚市野上2丁目4番19号

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和4年 4月 1日 至 令和5年 3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	72,714
2 事業費用	62,923
本来業務事業利益	9,791
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業利益	9,791
II 事業外収益	711
III 事業外費用	0
経常利益	10,502
IV 特別利益	0
V 特別損失	0
税引前当期純利益	10,502
法人税等	211
当期純利益	10,291

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

法人名 医療法人社団 広辻眼科
所在地 宝塚市野上2丁目4番19号

※医療法人整理番号

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1)法人である関係事業者

種類	名称	所在地	資産 総額 (千円)	事業の内容	関係事業者との 関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
※該当なし									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2)個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との 関係	取引の内容	取引 金額 (千円)	科目	期末 残高 (千円)
役員	廣辻 徳彦	医師	当法人理事長、 不動産の賃借	賃借料支払 (注)1	150/月	賃借料	1,800

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(注) 1. 不動産賃借料は、近隣相場を参考に決定している。

- (注) 1 関係事業者ごとに記載すること。
2 種類は医療法施行規則第32条の6に定める関係事業者のうち該当する関係を記載する。
3 近親者である場合には続柄を記載する。
4 次に定める取引については上記の注記を要しない。
イ 一般競争入札による取引並びに預金利息及び配当金の受取りその他取引の性格からみて
取引条件が一般の取引と同様であることが明白な取引。
ロ 役員に対する報酬、賞与及び退職慰労金の支払い
該当する取引がない場合には「該当なし」と記載する。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人社団 広辻眼科
理事長 廣辻徳彦 殿

私は、医療法人社団広辻眼科の令和 4 会計年度（令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 5 年 5 月 22 日
医療法人社団 広辻眼科
監事 川 原 道 代